

感覚のことば 音象徴とオノマトペの世界

日本語には 2000 語をこえるオノマトペがあると言われています。日常でも「ころころ」「わんわん」など、オノマトペが多く活用されています。さて、日本最古のオノマトペは何でしょう？ 「さらさら」と「ざらざら」はどう違いますか？ また、方言で違いはあるのでしょうか？ 言葉の彩り、オノマトペの世界をご案内します。

10 月 24 日（木）

10:00～11:30

講 師

川崎 めぐみ

名古屋学院大学商学部准教授。

日本語学・方言学を専門分野として、方言のオノマトペについて研究しています。大学では学生の日本語力・文章力向上のための教育に携わっています。

講義の対象

言葉に興味のある方でしたらどなたでも

定 員

20 名

受講料

1, 000 円